

2019年12月30日

あおぞら投信株式会社

## 「多極化の 地球の上の 出来事を いかに自ら 手にして想うか」

「歴史は繰り返さないが、しばしば韻を踏む\*」と言われるように、現在を理解するために、歴史を知ることとはとても大切なことなのだと思います。すなわち現在のように複雑な社会が展開し、先を読めない時であるからこそ、歴史上の様々な状況にヒントを求めることは自然な流れでもあるのです。いま世界はいかに難局を乗り越えようとしているのでしょうか。

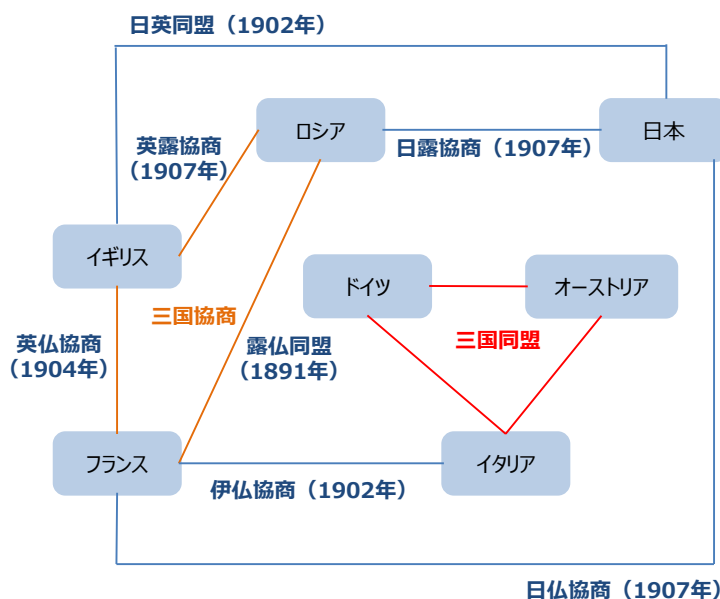
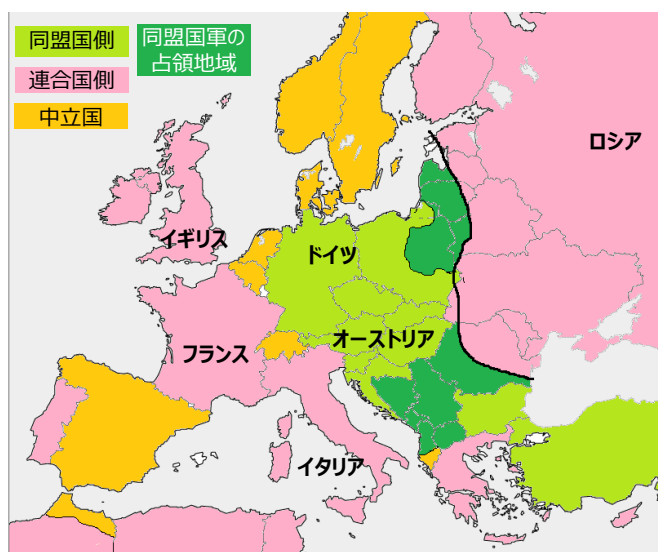
20世紀まで、世界では強烈な対立の歴史の連続が見られました。産業革命から発展した英国が世界の七つの海を支配していた時代から、ドイツの台頭や米国の成長などが加わり、世界の対立軸は複雑化していきます。第一次世界大戦とは、その複雑性の課題を露呈した戦いだったかと思えます。変化の時代にありがちな、変化を進める力とそれに抵抗する力の戦いです。結果的には無理を進めようとするものを拒むという秩序が働き、いったんは落ち着きます。それでも新たな時代への変化を無理にでも推し進めようとする力が湧いて出ると、再び戦いが起こることになります。特に、経済が好調であることで世界への影響度を高めた米国が経済危機に陥り、その後起こった第二次世界大戦は、各国に大きな課題を残したのです。その中から東西の冷戦が生まれ、現在へと繋がっています。

今年は毎日のように米中貿易摩擦が話題になり続けていました。中国という強大なパワーをつけた国を含めて21世紀は変化していきます。だからこそ2020年を迎えるにあたり、いかに真に地球全体を考える力をつけるのかを問いかけるべき時なのだと考えるのです。

\*2019年12月4日付 日本経済新聞朝刊 FINANCIAL TIMES「第一次世界大戦に並ぶ難局」  
上記は筆者の考えであり、当社の統一された見解ではありません。

柳谷俊郎

### 第一次世界大戦時の世界の対立について



出所：各種情報を基にあおぞら投信が作成。

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号：あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第2771号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス：<http://www.aozora-im.co.jp/>